

ピアス説明書・同意書

ピアッシングとは、体の一部に装飾品などを装着するための孔をあけることをいいます。

耳たぶや耳介（ヘリックス）の場合、ピアスガンあるいはピアッサーを用いて、麻酔なしで行います。その他の部位(ボディピアス)は、局所麻酔をして行います。

ピアッシングしてから、ピアスホールが形成されるまで約 6 週間(ボディピアスの場合は約 8 週間)かかります。その間、ピアスは外さないようにして下さい。

1 日 2 回、ピアスの軸をずらしながら水または湯で洗い、軟膏を外用して下さい。

ピアスホールが完全に落ち着くまで、1 年くらいかかります。その間は、ピアスをしない状態が続くとふさがってしまうことがありますので、注意して下さい。

合併症

感染 赤く腫れ、膿がでることもあります。

アレルギー ピアスの金属が体に合わない場合は痒みがでたり赤く腫れます。

金属アレルギーのある方はチタン加工のものか、樹脂のピアスをお勧めしています。

もともと金属アレルギーがなくても、ピアッシングをすることによってアレルギーを発症してしまうことがあります。

ケロイド ピアス孔のまわりが赤くふくらみ、硬くなります。注射で抑えたり、手術で切除したりする必要があります。

表皮嚢腫 ピアス孔の皮膚が皮下にもぐりこみ、袋を形成した状態をいいます。袋ごと切除する手術が必要となる場合があります。

耳垂裂など ピアスの重みで穴が縦に裂けてきたり、ピアスを引っ掛けてしまうなどにより、ピアス孔がちぎれてしまう場合があります。

何か異常が生じた場合は早めに当院を受診して下さい。

上記について説明を受け、納得理解した上で施術を受けることに同意いたします。

年 月 日

住所

氏名

未成年の場合 保証人 氏名

印